

Study Trip to the U.K.

3月15日 学校出発→アムステルダム スキポール空港→ロンドン ヒースロー空港

3月16日 自然史博物館→科学博物館→Bury St Edmunds Country Upper School (CUS)にてホストファミリーと対面



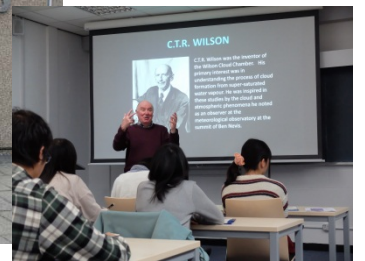
3月17日 CUSでの活動 1日目



3月18日 CUSでの活動 2日目



3月19日 ホストファミリーとお別れ→サイエンスセンター→キャベンディッシュラボ



3月20, 21日 ロンドン ヒースロー空港→アムステルダム スキポール→関西国際空港→学校到着



〈感想〉

機内食もホテルの食事もおいしかった!!



ホームステイすごくよかった!!



博物館広かった



ふふふ。



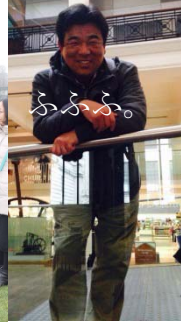
楽しかったあああ!!



Big Ben!!!



英語力、つきました。



ふふふ。

サイエンス・ミュージアム

初めに自然史博物館に行きました。
入り口を入るとすぐに見たこともないレベル
の恐竜の骨が！！！！
迫力満点で皆見とれていました。
記念に一枚パチリ！



博物館の中はとても広く、半日では回りきれないほどでした。
恐竜のコーナーや魚のコーナー、鉱石のコーナーなど様々な展示がありました。
今まで見たことのないような巨大な模型や剥製があって、一人ひとりが興味を持つものについて調べることができました。



次に科学博物館に行きました。
外観はイギリスらしくレンガ作りで魅了されました。
7階建てで、ひとつひとつの展示物を半日で周るのはしんどかったです。

蒸気機関や飛行機の模型(実物?)もあり、目で見ているととても楽しめました。
説明はもちろんのこと英語で書かれていたので、幾らかは写真に撮って家で翻訳しました。
小さい子から年配の方まで幅広い年代層の人が訪れていたのがとても印象的でした。



Bury St Edmunds County Upper School Science Day



First Day

Science Experiments



Discernment Science



Presentation



CUSでの1日目の活動は、まず2つのグループに分かれて鑑識科学と、様々な実験を行いました。現地校の学生と意思疎通を図りながら、実験を通して親交を深めることができました。その後、課題研究プレゼンテーションを行いました。英語をあまり上手に話せなかったのですが、相手も積極的に聞いてくれて、臆せず話すことができました。

Second Day

Longest & Strongest Bridge



Tallest & Strongest Tower



Fly Away Egg



Rocket



CUSの2日目の活動は、4~5人のグループを作り、4つの実験を行い、その完成度を競いました。2日目ということもあって、自分からも積極的に意思疎通ができ、切磋琢磨しながら楽しく活動できました。最後にカントリーダンスをして更なる親睦を深めました。

ホームステイ先では日本とは違った生活様式の中ではじめは戸惑ったものの、一緒に買い物に行ったりスポーツをしたりして家族と交流し緊張もほぐれました。別れはとても辛かったけど、忘れられない思い出になりました。

Homestay



ご飯が意外と美味しかった!!

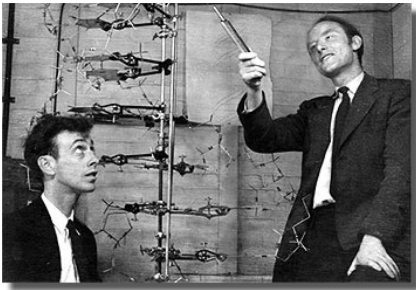
ケンブリッジでの活動

○ケンブリッジ市内の様子

ケンブリッジ市内を見て回りました。
市内は古い建築物が多くあり、格調のある雰囲気やイギリスならではの街並みを十分に楽しむことができました。



市内にはこの地で偉業を果たした人物の紹介文などもありました。
例えば、右下の写真はフランシス・クリックとジェームズ・ワトソンがこの地でDNAの二重らせん構造を発見したことを書いています。



○サイエンスセンターでの体験

静電気や電流を使った実験の説明を英語で受けたり体験をしたりしました。

また、身近にある理科を使った原理や構造を知ることができました。



静電気による実験



強い橋の構造

Cavendish Laboratory (キャベンディッシュ研究所) への訪問

イギリスにある、29人のノーベル賞を輩出した名門の研究所にお邪魔しました。元所長のジャクソンさんに研究所の歴史等について講演をしていただいた後、様々な実験装置や展示を見学させていただきました。

この研究所には、遺伝子研究で知られているワトソンとクリック、研究所の名前にもなっているキャベンディッシュ (ワンピースのキャラじゃないよ) などがかつて所属していました。また、見せていただいた実験装置は教科書に載っているような、珍しいオリジナルの実験装置ばかりで、みんな目を輝かせて見入っていました。

追記. キャベンディッシュさんはすばらしい研究者なので興味のある方は調べてみてください☆



案内してくれたジャクソンさん



真空放電の装置 (初めて作られた自作機)



DNA 螺旋構造 (偽者)

○感想

キャベンディッシュ研究所では感動の連続でした。まず、建物の外装のデザインがとてもスタイリッシュでクールでした。元所長さんもとても面白い人でプレゼンもすべて英語でしたが、とても興味深く真剣に聞き入ってしまって時間が早くたっていきました。様々な実験装置は、目的の実験を行うために自分たちで作っていたものであると知り、本当にリスペクト以外の何者でもなかったです。将来あのような環境で研究できればいいなあとしみじみ感じました。

